

研究成果情報

平成 30 年度

秋植え球根の鉢花栽培作型及び寄せ植えによる高付加価値化

[要約] 秋植え球根の鉢花栽培では、無冷蔵球を 12 月上旬に定植すると、2 月中～下旬頃に開花する。スイセン、チューリップ及びムスカリは、球根の冷蔵処理や施設加温により開花期を早めることができる。定植期や開花期が同じ複数の品目・品種を組み合わせると、高単価が期待できる寄せ植え鉢花を生産できる。

新潟県農業総合研究所園芸研究センター 育種栽培科	連絡先	TEL 0254-27-5555 FAX 0254-27-2659
--------------------------	-----	--------------------------------------

[背景・ねらい]

新潟県は、チューリップやスイセンをはじめとした秋植え球根の全国一の産地であるが、近年球根の消費が低迷し、生産量の減少が著しい。そこで、園芸導入による複合営農を加速させるために、秋植え球根の新たな販売形態である寄せ植え鉢花の開花調節技術を開発し、球根類の販路拡大を図る。

[内容]

1 球根冷蔵処理の有無や施設の加温温度を変えると、鉢花の出荷期間を拡大できる(図1)。

(1) 球根無冷蔵作型:クロッカス、スイセン、チューリップ、ヒヤシンス及びムスカリを 12 月上旬に定植し、最低温度5℃に加温した施設内で発根させた後、1月下旬から最低温度8℃で栽培すると、2月中～下旬頃に開花する(図1)。

(2) 球根冷蔵作型:球根を9月上旬から予冷(2週間・15℃)と本冷(任意の期間・2℃)した後、鉢に定植し、自然条件下で2週間発根させた後に、加温した施設内で栽培すると開花期を早めることができる。

ア スイセン及びチューリップ:球根を5～9週間本冷し、定植・発根後に温度 10～15℃下で栽培すると、12月下旬頃から開花する(図1)。

イ ムスカリ:球根を9週間本冷し、定植・発根後に温度 10～15℃下で栽培すると、1月中旬頃から開花する(図1)。

2 定植期及び開花期が同じ複数の品目や、花色や花型が異なる品種等を組み合わせて植え込むと、販売価格の高い鉢花の生産が期待できる(図1、2)。

[導入効果]

県産秋植え球根と販売価格の高い鉢花の生産拡大

[導入対象]

加温施設を有する農業者

[留意点]

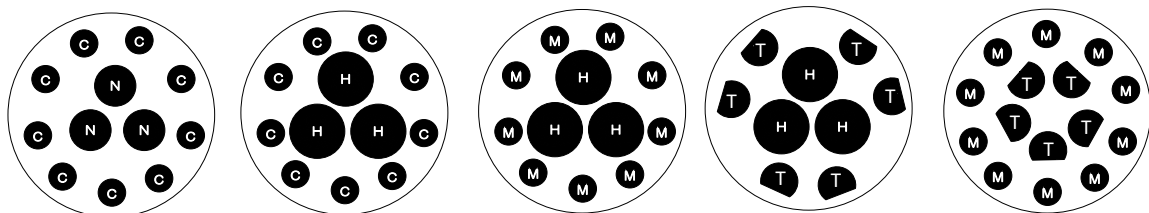
- 1 球根の冷蔵適性や開花始期等には品種間差があるため、適した品種を選定する。
- 2 出荷適期は品目によって異なるが、概ね開花直前から開花始期である。
- 3 球根無冷蔵作型では、加温開始を早めても開花始期は早まらない。
- 4 球根冷蔵作型のムスカリは、球根本冷期間を9週間より短縮して加温開始時期を早めても、開花始期は早まらない。

[具体的データ]

作型	品目 ^注	球根本冷期間(週)	加温温度(°C)	9月			10月			11月			12月			1月			2月				
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
球根無冷蔵	クロッカス	-	5→8										◎	🏠(5°C)							🌱	🌱	
	スイセン	-	5→8										◎	🏠(5°C)								🌱	🌱
	チューリップ	-	5→8										◎	🏠(5°C)								🌱	🌱
	ヒヤシンス	-	5→8										◎	🏠(5°C)								🌱	🌱
	ムスカリ	-	5→8										◎	🏠(5°C)								🌱	🌱
球根冷蔵	スイセン	5	10~15	○	△			◎	🏠														
		7	10~15	○	△			◎	🏠														
		9	10~15	○	△			◎	🏠														
	チューリップ	5	15	○	△			◎	🏠														
		7	15	○	△			◎	🏠														
		9	15	○	△			◎	🏠														
		5	10	○	△			◎	🏠														
		7	10	○	△			◎	🏠														
		9	10	○	△			◎	🏠														
	ムスカリ	9	15	○	△			◎	🏠														
		9	10	○	△			◎	🏠														
		9	5	○	△			◎	🏠														

凡例 ○ 予冷(15°C)開始 △ 本冷(2°C)開始 ◎ 球根定植 🏠 加温開始 🌱-🌱 開花始期
 注 スイセン「テータテート」、チューリップ「クリスマスドリーム」、ムスカリ「アルメニアカム」、クロッカス「イエローマンモス」、「フラワーレコード」、「ジャンヌダーク」、ヒヤシンス「ピンクパール」、「パープルセンセーション」、「カーネギー」を用いた結果である。

図1 秋植え球根類の鉢花栽培における作型



(N:スイセン、C:クロッカス、H:ヒヤシンス、T:チューリップ、M:ムスカリ)



図2 寄せ植え鉢花の例 (上段:球根の配置図、下段:開花盛期の様子、鉢サイズ:6号鉢)

[その他]

- 研究課題名: 1 花きのブランド確立と複合営農を加速するための生産・流通技術の開発
- 2 花きの産地強化とブランド化を推進する生産・流通技術の開発

予算区分: 県単経常

研究期間: 平成24~29年度

発表論文等: なし